

# 書き出し

つげ幻象

立秋や大きく動く妻の影  
 秋風やサンドイッチの具のこぼれ  
 月面の傷の癒えたり野分あと  
 本棚の隅にトロフィー寄せ夜長  
 しばらくは水にまかせて權さやか  
 径ひとつ隠れてゐたる葛の花  
 ハモニカに鉄の匂ひや秋の雨  
 書き出しの一語耀ひ秋灯し  
 一輪の老いたる菊を挿し残す  
 木はりんご林檎は雨をしたたらす